

ほろびと



2017. NO

121

目次

- 6月定例会 2
- 議会トピックス 3
- 6人が一般質問 4～9
- 傍聴席から一言・議会のうごき 10
- 軌跡 10

6月 定例会

山の中の海軍のまち ひみつ基地 ミュージアム（仮称）建設予算を可決



山の中の海軍のまち ひみつ基地ミュージアム（仮称）
建設予定地

平成29年第2回定例会は、6月12日から16日までの5日間の日程で行われ、平成28年度各会計補正予算等の専決処分の承認8件、平成29年度各会計補正予算4件（ひみつ基地ミュージアム「仮称」建設予算4千4百万円を含む）、条例改正等1件、報告2件、諮問1件、人事案件1件が上程され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり承認、可決した。

なお、今回の一般質問には、6人が登壇し、執行部の考えを質した。

条例改正等

- ① 錦町条例の一部を改正する条例（専決処分）
地方税法等の一部改正に伴い改正するもの
- ② 錦町国民健康保険条例の一部を改正する条例（専決処分）
地方税法等の一部改正に伴い改正するもの
- ③ 錦町社会福祉振興基金条例の一部を改正する条例
基金の用途範囲を拡大するために改正するもの

報告

- ① 平成28年度錦町一般会計繰越明許費繰越計算書
- ② 平成28年度錦町下水道特別会計繰越明許費繰越計算書

諮問

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

人事案件

- 副町長
- 住所 錦町大字西 13357番地3
氏名 東 睦子
 - 住所 錦町大字西 243番地
氏名 小田 節子
 - 住所 錦町大字上南 885番地
氏名 高瀬 久人

表決一覧

（賛成＝○ 反対＝×）

議案名	議員名	池田	藤川	岡田	金山	柳瀬	右田	守永	久保田	荒川	高田	土肥
副町長の選任について		○	○	○	○	○	○	○	○	退席	○	○

人吉球磨地域振興の課題解消を

7月22日、人吉球磨地域の振興に関する国会議員団・県議員団・市町村長・正副議長との意見交換会が、パルティール福寿庵で開催された。各市町村議会から提出の要望に対する国・県議団の回答後、活発な意見が交わされた。本町議会からは「鳥獣被害対策について」と「クルーズ船寄港の効果について」等を提出したが、鳥獣被害対策については郡市の大きな課題であり、地域連携による対策の支援と生息環境整備、被害防除、鳥獣保護管理による対策で対応中である。又、クルーズ船寄港に伴う県の対応については、ツアー客は増加状況であり、誘客と経済効果を高めることについて検討中であるとの回答であった。



イノシシによる被害状況

議会トピックス

全国町村議長・副議長研修会開催

全国町村議長・副議長研修会が5月31日に東京中野サンプラザホールで開催された。

研修内容は「大震災における自治体と議会の使命」と「議長・副議長の在り方について」の講話と議会活性化において町村議会特別表彰を受けた北海道浦幌町議会（人口約5千人・定数11人）と京都府精華町議会（人口約3万8千人・定数18人）の活動報告が行われた。特に本町議会も制定している議会基本条例に基づき開かれた議会の活性化において多種多様な活動がなされておき、参考にする点が多かった。終了後、全国町村会館で地元選出の金子、松村、馬場国会議員と葦北郡、八代郡、球磨郡正副議長との懇談会が行われた。翌6月1日同場所で開催された衆参国会議員及び秘書と県内町村正副議長及び秘書との懇談会が行われ、国政等の状況報告や質疑応答が交わされた。



一般質問
町政の「い」が聞きたい

6人が登壇
(要約掲載)

木上地区の活性化について

町長の政策を問う



土肥 俊一 議員

土肥 町花ツクシイバラ公式発見100周年に望み、『緑のおくりもの』を町歌として定めることを提案したい。ツクシイバラ、ホオジロ、カシを題材に錦町の未来を展望する歌詞であり、毎日「あいねっと」から流れている。

町長 各種イベントで活躍中の錦町音頭、サンバde錦に、加えることは町民皆様にご理解いただける

と思う。実施に向け検討させてもらいたい。

土肥 通学路の安全安心の確保。球磨大橋から県道水上線交差点の道路改良における用地買収の問題点は。

町長 地籍図面と現状の測量図面が一致しない点。現状図面の中で所有者の方々のご了解を求めながら県の方々も用地交渉を早急に進めるよう強くお願いしていきたい。

土肥 若者向け公営住宅を、木上駐在所跡地に建設できないか。

町長 若者向けも考えながら、人が住める状態にリフォームするために、9月か12月に予算を上げて活用できるように取り組みたい。

土肥 海軍航空基地跡の活用、及び歴史遺産として木本神社や荒田

大王神社等の活用策として、観光拠点施設の建設を計画し、モニターツアーも行なわれているが、その見直しは。

町長 展示資料館を錦町総合観光発信拠点として整備したい。遊歩道や町道の改良同時に進めることで、平和教育と観光を組み合わせて修学旅行等の誘致や農家民泊を推進し、オリジナルおみやげグッズや特産品を開発することで、多額になる運営維持費の回収にも努力していきたい。

土肥 計画されている場外舟券売場の今後の見直しは。資料館等の運営費のことを考えると一日も早い実現を望む。木上地区の活性化の起爆剤になることを心から期待したい。

町長 設置基準が二転三転し、現状では町の持ち出しが高額になり実現は厳しく、当分の間は誘致計画を凍結したい。今後設置基準が合えば又、手を挙げて検討したい。

土肥 凍結は非常に残念だが、次に期待したい。くらんど公園に野外ステージ建設を、公園内の調整池の整備を、公園東側の民有地を駐車場に、この三点について、これを進める中でオープンメントハウスを検討することはできないか

たずねたい。

町長 くらんど公園は、緊急災害時のヘリポートの指定地になっており、そのことも勘案しながら、提案の件は検討させていただきたい。

土肥 是非活用ができるよう願う。

	工事・業務名	予算計上	予算	決定額	事業名称	備考
観光拠点	観光拠点施設工事	6補	44,000,000	42,667,000	拠点	
	情報発信施設設計・監理業務	6補	2,640,000	2,561,000	拠点	基本・実施・監理
	資料館駐車場整備	6補	0	0	推進	交付対象外 8,400,000円
	館内及び地下施設展示計画・実施業務	6補	11,000,000	10,200,000	推進	展示制作
	PR用プロモーション動画等制作	6補	1,200,000	1,200,000	推進(利用効果)	ムービー制作
遊歩道	遊歩道設計業務	当初	3,250,000	3,250,000	推進	6月発注
	遊歩道整備	6補	10,000,000	9,776,000	拠点(効果促進)	
	地下発電室詳細測量(農芸学院敷地内)	当初	2,700,000	2,700,000	推進	6月発注
	主要地下壕用地取得	当初	3,686,000		単	遊歩道 or 主要地下壕用地
						充当額↓
	計		78,476,000	72,354,000		36,177,000

平成 29 年度 錦町観光拠点整備事業計画

公共の場所に喫煙所の設置を



池田 秀晴 議員

池田 某町役場へ議員研修に出かけた折、職員に喫煙所はあるかと尋ねたところ、あるとのこと、喜んでついでいくと屋根もない庁舎の裏で灰皿1個だけだった。そこで、本町の庁舎及び小中学校での受動喫煙防止対策の現状は満足していると思うか。

基づいて改善していくことが重要だと思う。

教育長 各学校に1名ないし4名の喫煙者があり、分煙として建物内に喫煙場所を設置

している学校が2校、建物内に限って禁煙している学校が2校

ということ、今後は、健康増進法が成立すると学校は敷地

内禁煙となるので、法に基づいて考えていかなくはいけない

と思う。

池田 たばこの煙から子どもたちを守るための投稿文があり、大人の責任と題して、子どもは大人の言うことは聞かないが、



研修先の喫煙所 (3.0 × 4.0m)

大人のまねはすると書いてあり、いつの広報紙に載っていたか分かるか。

健康保険課 平成27年の6月号の広報紙に保健師が記載したものを。

池田 喫煙所にコミュニケーションの場は必要ないか。ストレス解消の場所、知恵を出し合う場所、和み

の場所、癒しの場所で「ス・輪・和・癒」と自分なりに解釈してみた。弱い人間が狭い空間で一服するこ

とで生きているということが実感できる場所であり、ひとときの安らぎの空間ではないかと思うが。

総務課 議員が言われたストレス解消の場、知恵を出し合う場、和

みの場、癒しの場と4つの点については全て当てていると考えている。しかしながら受動喫煙防止という観点で、来庁される喫煙者の方への配慮、また非喫煙者の方への配慮という面では、不十分な点があるようなので、今後検討したい。

「ボートレース場外舟券売場「誘致計画」」
「一時凍結」でなく『断念』を！



藤川 喜一 議員

から見えられ設置基準が厳しくなったことから今回はオラレ方式での場外舟券売場は「一時凍結」することとした。

藤川 4月下旬に見えられたということだが「全員協議会」は5月(1日)6月(6日)にもあったが何の説明もなかった。議会軽視ではないか。

藤川 昨年11月の議会全員協議会で町長より初めて「誘致計画」の説明を受けてから半年以上経過した。その間新聞を始めマスコミも注目しさまざまな動きが起きている。5月29日には町民有志を代表者にして「考える会」が結成され約50名が参加した、と人吉新聞、熊日新聞がその内容も含めて報道しており町民の関心が高まっている。3月定例議会での一連の質問への答弁以降「誘致計画」について変化した部分はあるか伺いたい。

町長 4月下旬に大村市(胴元)

はできない。

藤川 3月定例議会で「誘致計画」は町政振興につながる。という立場で4つの問題点を指摘した。町長はギャンブル依存症は心配している。と回答されている。その考えに変わりはないか。

町長 総体的な話になれば新聞に載っていたようにギャンブル依存症については心配している。

町民にいていねいな
「説明責任」を求める。

藤川 国は「ギャンブル依存症対策基本法」を検討している。ギャンブル等とは「公営ギャンブル・パチンコその他の射幸行為」と規定している。町民憲章には「健康で明るい、文化を育む町をつくります。」とある。認識を深めていただきたい。

また、日本遺産のイメージダウンの問題、現在、町が戦争の悲惨さを伝える戦争遺跡を平和学習の場、平和観光に生かそうと整備中の人吉海軍航空基地跡の一部に

ギャンブル場があることへの違和感などを指摘している。近隣市町村の住民、又、戦争遺跡保存団体なども問題ありということに心配している。町長は8月の町政座談会で「誘致計画」を説明すると回答している。説明するのか。

町長 説明項目には上げないが、「あいさつ」の中で触れることとする。



場外舟券売場誘致予定地



荒川 孝一 議員

荒川 お悔み放送の時間、30分繰り上げて18時にできないか。当日お通夜19時には間に合わないと思われるの方々の意見がある。

企画観光課 錦町情報通信施設運営審議会でも放送時間の前倒し案も出たが、最終的には変更しなかった。

荒川 斎場は錦だけでなく人吉もある。都合性を考慮すべきではないか。現在、「あいねっと」には自動的に録音されるシステムである。30分は早めても録音で聞くことができる。柔軟性をもって考えるべきではないか。

企画観光課 議員提案の放送時間の件は、私どもへ時々伝わる件なので再度御意見を聞く機会を設けたい。

熊本地震を 教訓としているか？

荒川 地域防災計画の見直しを発表されたが、その中で福祉避難所の設置についての意味は。

総務課 県の方からの提案として、福祉避難所の拡充があり、町として今回、防災計画の見直しに老人ホーム一ヶ所を新たに追加した。

荒川 熊本地震において福祉施設は避難所としてほとんど機能しなかった。なぜならば、既に入居者がいて、職員も限られている所に来て満杯状態で受入れ出来なかったことが、検証されている。それで今回、防災計画で避難福祉施設を一ヶ所増やしましたと言われるけれども、現実味がない。熊本市を

始め多くの自治体が、今回の見直しで避難所に弱者専用のスペース確保と福祉班を設置している。

町長 指摘があった様に施設には入居されている方がいて職員も手いっぱい状況で新しく避難してきた人に対して、手伝っていたただく方を追加配置する必要がある。職員の福祉スタッフを始め、今度新しく発足したボランティア連絡協議会の方々にもお願いできるよ



避難場所は機能するのか

う計画していく。

荒川 報道各紙の地震時の対応検証として、高齢者、障がい者等、災害弱者対応に反省を促している。5年前東北地震直後、私は県の代表(支援学校PTA連合)として、全国大会で福島の方々からレポートを聞いた。それを県に持ち帰り報告したのだが、どこか他人事というか、まさか熊本でも起こるとは思ってなく、情報提供の仕方にも悔いが残っている。熊本での地震はもう起こらないではなく、再度起こる可能性が高まっていると考え、対応していくべきだ。

総務課 防災計画に合わせて、大地震対応チェックリストを作成し、また避難所運営マニュアルにおいては要介護者対応班を配置し、スペース確保するよう記載し対応していく。

場外舟券売場誘致による

振興と活性化を



金山 民幸 議員

及び運営に関する状況は。

企画観光課 九州内19自治体のアンケートの結果、効果は先程述べたとおりと同様であった。設置後の治安等の変化は特になかったようだ。

金山 従来から企業を誘致する場合公害防止や他の問題等については、町、企業、地元、関係機関等で協議会を設けて対応してきたので、そのような状況とは思っていた。次に国ではギャンブル依存症対策を強化するということだが、状況を把握しているか。

企画観光課 国の調査ではギャンブル依存症の疑いがある者が536万人で、その中の6割がパチンコ、パチスロ、競馬、競輪等となっている。今国会では成立しなかったが、各政党により抜本的な依存症対策を強化するための基本法案をまとめたことを把握している。

金山 早い時期に凍結解除ができるような状況になること

を願っているが、町長の所見を。

町長 町の将来を考えた場合、財源の確保が第一と考えている。解除についてはしっかりと今後考えていく。

金山 場外舟券売場誘致について、先程ボートレース振興会の運営方針変更により、町独自での建物建設には1億5千万円掛ることから凍結することだが、やむを得ない判断とされている。現在、町では人口減少対策と地域振興に向けて学校給食費の助成や海軍航空隊跡整備、介護予防の実施、乗合タクシー運行の見直し等を進めているが、今後、急速な高齢化により医療、介護、扶助費等において個人負担及び町の負担も増加していく。このような状況に対処して

いくための財源確保策として舟券売場誘致検討の中で、誘致はギャンブル依存症を増やす恐れがあるとか、平和教育の場に疑問等の反対等の意見等があっているが、議会も設置計画及び運営内容の説明や長洲町と島原市での研修等を行っている。誘致は凍結とのことだが、企業立地による公益性等を考慮し町の振興と活性化を図るために次により質問する。郡市における企業誘致の現状と舟券売場誘致における町及び地域への効果は。

企画観光課 町単独と郡市連携して企業誘致活動しているが進んでいない。又、舟券売場による効果は税込及び雇用の確保、地元産品消費等の経済活性化があり、特に売上げの一部が交付されるので、教育及び子育てや各行政区の地域づくりへの財源活用が見込まれる。

金山 舟券売場設置自治体の設置



長洲町場外舟券売場

一般財源（自主財源）の確保は大丈夫か？



右田 宣之 議員

右田 平成29年度の一般会計予算額55億強で、その財源の内訳は、特定財源である国県からの補助金や町の借金の比率が42%、残りの58%が一般財源である。このような状況化の中、国県においても財政事情は年々厳しさを増し、近年は補助率を下げるなどの方策に転じ、従来からの自治体は平等からインセンティブ、つまりは、自治体による気を起こさせ、目的達成のため刺激を与える方針にシフトして来ている。しかし、これも100%が特定財源ではない。一般財源は必ず必要である。それら

を総合的に勘案した時に将来的に財政事情を危惧するが、今後、一般財源の推移をどのように把握しているか。

総務課 歳入面では、国勢調査による人口減少予測の影響を受け地方交付税の減少が見込まれる。歳出面においては、人件費、扶助費及び公債費など義務的経費が増えるため、歳入の減と歳出の増を考慮すると一般財源ベースで赤字要素となる。

右田 自主財源の要である町税は今後どのように推移していくか。

税務課 今後の税制改正等によって大きく左右されるため予測は困難であるが、現状では減収になると推測する。要因は、法人町民税で大規模企業の収益の一部が本社に移行となったことや所得割の税率が引き下げら



固定資産税の増収要因となっている太陽光パネル

れることのほか、平成26年度から増収となっている太陽光発電施設の数が17年で減価償却により年々減収となることなどが要因である。

右田 一般財源で対応という視点から地域整備課分のみで、町民相談室に提出される要望書の中で、案件がどれ位で額面にしてどれ位か。

地域整備課 平成24～平成29年度で地域整備課分は162件で金額

は約3億2千万円、内一般財源充当額は約2億1千万円と試算している。

右田 今、総務課、税務課に答弁をもらったが、今後において一般財源となる材料は不透明で、むしろ減少の傾向にある。そんな中であって、場外舟券売場の件は、貴重な自主財源確保につながる誘致と考えていたが諸事情により当分凍結との見解を示されたが、町長再考はないのか。

町長 場外舟券売場を導入することで総体的に町全体の波及効果が2億2千万円程度となる。今回は、我々が考えている条件が採択基準に沿わなかったということ凍結という結果になったが、今後しっかりと検討をして行きたい。

議会のうごき

4月

1日	・錦こども園入園式 ・一武保育園入園式	12日	・広報特別委員会 ・例月出納検査（～13日）
2日	・錦町消防団入退団式	13日	・球磨地域振興局幹部との懇談会
3日	・全員協議会	14日	・定例郡議長会
6日	・春の全国交通安全運動出発式	18日	・熊本地震犠牲者追悼式
10日	・県立球磨中央高等学校開校式 及び第1回入学式	24日	・広報特別委員会 ・広報特別委員会
11日	・町内各小学校入学式 ・錦中学校入学式		

5月

1日	・全員協議会	19日	・錦町商工会通常総会
10日	・定例郡議長会	21日	・丸目蔵人顕彰少年剣道大会
11日	・例月出納検査（～12日）	22日	・熊本県町村議会議長会議長研修
12日	・球磨郡監査委員協議会定期総会	26日	・人吉球磨広域行政組合議会臨時会
13日	・球磨商業高校（球磨中央高校）体育大会 ・ツクシバラ公式発見100周年記念式典	28日	・西小学校運動会
14日	・錦中学校体育大会	30日	・国道219号整備改良促進期成同盟会総会
17日	・錦町慰霊祭	31日	・全国町村議会議長・副議長研修会（～1日）

6月

5日	・熊本県町村議会議長会臨時総会 ・定例郡議長会	19日	・決算審査（簡易水道特別会計）（～20日）
6日	・議会運営委員会 ・全員協議会	22日	・例月出納検査（～23日）
12日	・平成29年第2回定例会（～16日）	29日	・人吉地区防犯協会連合会評議員会 ・平成29年県庁織月会懇親会

傍聴席から一言



迫 和子さん
(錦町民生児童委員)

2回目の議会傍聴を6月15日民生委員の方々と致しました。

ポートレース場外舟券売場についてや地域防災計画等、計6件の質問がありました。ポートレース場外舟券売場については初めて聞く話でよくわかりませんでした。近頃出て来た話だそうで町長よりこの話は凍結して、今後検討してゆくとの事でした。今何が起きているのか、今後どうして町づくりをやっていくのか、議会を傍聴していて初めてわかりました。

役目柄どうしても福祉や児童の無事な成長が気になるのですが、この問題は町や議会でも難しいとは思いますが錦町に住んで良かったと言われる福祉行政を行っていただければと願っております。

議会傍聴をして町の事をもっと知りたいと思います。

軌跡

一期目四年間だったが、議場において同席させてもらった二人の先輩議員が今年に入って相次いで亡くなられた。

お二人にはよく声を掛けてもらった。又、議場は我々議員にとって聖域であり、一礼して入場し、一礼して退場する姿勢も学ばせていただいた。最近、国政議員の暴言失態が相次いで報じられ、その視線は我々地方議員にも向けられている。先輩議員の指導力という評論家もおられるが、私はお教えを乞う側の姿勢に謙虚さが無いのではないかと思う。

素直な気持ちで頭を垂れ、お教えていただく、亡くなられたお二人は、それに応じてニコニコと笑顔を浮かべながら言葉添えていただいた。中村議員には、役場職員出身という職歴を生かした質疑に敬服し、行政知識を伺った。又、桑原議員には、納得いくまで執行部と議論する姿勢を学んだ。氏の議場での口ぐせ、まァいっぺんが思い出される。

春風を以て人に接し、秋霜を以て自ら慎む（言志録より）、お二人の様に、私も議場を離れる時に、この様な風情ができるようになっていけばいいのだが……。

合掌

(文責 荒川 孝一)

「広報特別委員会」

委員長 金山 民幸
副委員長 藤川 喜一

委員 荒川 孝一

柳瀬みどり

議長 市田 昇

右田 宣之